

蘇我エリアの核となる“生活の拠点”と“スポーツの拠点”

～ハーバーシティ蘇我と蘇我スポーツ公園～

フェスティバルウォーク蘇我、まちづくりの経緯とこれからのポテンシャル



はじめに

平素より皆様方にはハーバーシティ蘇我、フェスティバルウォーク蘇我の発展にご尽力を賜っておりますことを感謝申し上げます。

ハーバーシティ蘇我、ならびに弊社ディベロップメントによる商業施設フェスティバルウォーク蘇我は、“21世紀都市生活者のためのグローバルスタンダードな生活提案拠点づくり”を開発コンセプトに2005年(平成17年)4月、千葉市蘇我特定地区に誕生致しました。その後、フクダ電子アリーナの開業、ショッピング機能の充実、総合スポーツ公園の整備が行われ“暮らしとスポーツの一大拠点”が完成し現在に至っております。(2023年度実績＝年間動員数 1,822万人)

この度、2005年の第1期開発よりも早く20年の節目を迎えるにあたり、株式会社ネクサスはハーバーシティ蘇我、ならびにフェスティバルウォーク蘇我のあり方を見つめ直し、次世代を見据えた商業施設づくり、まちづくりの検討を進めております。

ご存知の通り蘇我地区は、千葉都心に近く、車でのアクセスも容易であるとともにウォーターフロントで海の借景も活かせる立地であり、これまでも多彩な商業施設群が大きな集客力を発揮してきただけにとどまらず、ジェフ市原・千葉のホームゲーム開催やJFEちばまつり、花火大会などの様々なイベントを通じて多くの皆さまに御来場いただいている魅力的な空間となっております。

さらに、近年の蘇我スポーツ公園の拡充・機能強化により、今後もスポーツやエンターテインメントなど各種イベントの益々の活発化が見込まれます。実際に2022年には国内3大音楽フェスの一つである“Rock in JAPAN”の誘致、開催などを実現し、大成功を収めることとなりました。

“ハーバーシティ蘇我”、“蘇我スポーツ公園”という2つの大きな拠点を備える「まち空間」としての蘇我地区にはまだまだ大きなポテンシャルが眠っています。

今回、あらためてハーバーシティ蘇我の魅力を皆様にご紹介し、未来を見据えた蘇我地区の開発に皆様のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

“HONEST WORKS TOWN～誠実な未来をつくるまち”の実現にお力をお貸しください。

一緒に未来のハーバーシティ蘇我を創り上げてまいりましょう。

株式会社ネクサス

千葉県第3の都心として発展する副都心蘇我

- 千葉都心、幕張新都心と並ぶ副都心
- アクセス優位性 鉄道、国道
- ウォーターフロント立地



年間動員数 1,800 万人の大きな集客力

- 2021年度の蘇我特定地区(商業施設+スポーツ公園)の動員数は1822万人。(2019年度比84%)
- 千葉県下ではららぽーと、イオンモール幕張新都心に次ぐ大規模商業施設

名称	ハーバーシティ蘇我 〔ウォーターフロントに立地する21世紀都市生活者のためのグローバルスタンダードな生活提案拠点〕	ららぽーと TOKYO-BAY 〔日本における本格的な大規模 SC の先駆け〕	イオン幕張新都心 〔日本一の滞在型 SC を目指す体験型ライフスタイルモール〕
開業	2005年4月	1981年4月	2013年12月
立地	JR 蘇我駅西口より 徒歩約15分	JR 南船橋駅より 徒歩5分	JR 海浜幕張駅より 徒歩20分
敷地面積	250,909 m ²	171,000 m ²	192,000 m ²
延床面積	208,264 m ²	256,000 m ²	402,000 m ²
店舗面積	102,479 m ²	104,000 m ²	128,000 m ²
駐車場台数	6,410 台	約 7,000 台	2,500 台
年間来場者数	1,822 万人 (2021年度)	2,500 万人 (2015年プレスリリース)	3,500 万人 (初年度目標)

7万坪の商業ゾーン+7万坪のスポーツ公園

- ➡ 2つの巨大施設が一体となって、蘇我のまちの核となる基地を構成
- ➡ 一体的なまちづくりにより、さらに面としての魅力づくりが可能な大きなポテンシャルを有す

- ハーバーシティ蘇我と蘇我スポーツ公園は2005年のまちびらきから段階的な開発を重ね、2022年3月のスポーツ公園の全面開園で、まちづくりの基盤が整いました。
- 様々な施設が分散立地しているハーバーシティ蘇我は、箱型の大規模SCとは異なり、外部の環境＝道、公園、海をも含めたまち空間を有しています。
- ハーバーシティ蘇我、蘇我スポーツ公園の2つの巨大施設からなる蘇我のまちの核は、一体的なまちづくりを目指す意識を高め、より相互に連携した展開を行っていくことにより、面としてのさらなる魅力づくりが可能な大きなポテンシャルを持っています。

ハーバーシティ蘇我
= 巨大な暮らしの拠点

蘇我スポーツ公園
= 巨大なスポーツの拠点

ハーバーシティ蘇我&フクアリ周辺地区の開発状況



2022.5.25

蘇るまちづくり～商業ゾーンのタウン・コンセプト

「HONEST WORKS TOWN～誠実な未来を創るまち」づくり

過去

～この地に宿るものからの発想を大切に

●臨海部の大規模工場（JFE スチール千葉東工場）の跡地再開発。

戦後日本の産業発展のシンボルである製鉄所跡地を、昭和の活気ある躍動の舞台となったまちの記憶を心に留めながら、新しい時代に向けた地域生活者のための憩い・交流・楽しみの場、便利で楽しい消費と遊びの基地として蘇（よみがえ）らせ、そして明日のまちへと発展させることが当初からの開発テーマでした。

●タウン・コンセプト—戦後の近代日本を創り上げた一大産業の場である製鉄所跡地で、活気ある躍動の時代を思い出し、勤勉で誠実な気概と誇りを大切に、「HONEST WORKS TOWN～誠実な未来を創るまち」づくりをタウン・コンセプトとして掲げ、インテリア、エクステリアとも環境デザインを展開していきました。

この地の由来

蘇りの地

ヤマトタケルは駿河の国、相模の国を平定した後、三浦半島から房総を眺めて「この海をひとまたぎする」と豪語して船出をした。

しかし、海神の怒りにふれ暴風雨となり、妃の弟橘姫（オトタチバナヒメ）は海に飛び込み、命と引きかえに海を鎮めたと伝えられる。

その受難の時に弟橘姫が入水し漂着したのが、今の川崎製鉄千葉製鉄所のあたりとされる。

漂着した弟橘姫が「我、蘇り（われよみがえり）」と言ったことから、この地を蘇我と呼ぶようになった。

また、姫の着物の袖が流れ着いた海岸を袖ヶ浦、ヤマトタケルが姫の死を悲しんで「君不去（きみさらず）」と言ったところを木更津と呼ぶと伝えられる。

都市基盤整備公団千葉地域支社 HP「おゆみ十話シリーズ・第7弾」より

この地に宿るものとは

目に宿るもの

HARBOR WORKS

臨海部の工業港であり、工場が稼働する風景がシンボリックに映る。



心に宿るもの

INDUSTRY and HONEST

製鉄工場の持つ力強く、勤勉でなおかつ誠実な技術集団の気概と誇りがこの地に刻み込まれている。



記憶に宿るもの

MODERN NIPPON

戦後の近代日本を造り上げた国を代表する一大産業の地であり、昭和の活気ある躍動の時代を思い浮かべる。



TOWN CONCEPT

製鉄の町として栄えた活力と、鉄人の誠実で実直なものづくりのスピリットを蘇らせ、着実な未来を築き上げる計画を目指す。

常に勤勉な努力を受け継ぐ街

EVER INDUSTRY

常に誠実で実直な心を受け継ぐ街

EVER HONEST

常に時代の先端を開拓する街

EVER MODERN

HONEST WORKS TOWN

誠実な未来を創る街

現在

～発展的まちづくりを重ねて 9 つの商業施設が複合したグローバルスタンダードな生活提案拠点づくりを実現

● 深日常生活をより豊かにするショッピングの場、エキサイティングな遊びの場、ゆったりとした心でくつろげる憩いの場……として、生き活きとしたライフシーンを彩り、ゆとりと潤いのあるライフスタイルが創造される舞台となるショッピングゾーンを開発してきました。

開発コンセプト

GLOBAL STANDARD

21 世紀都市生活者のための グローバルスタンダードな 生活提案拠点づくり

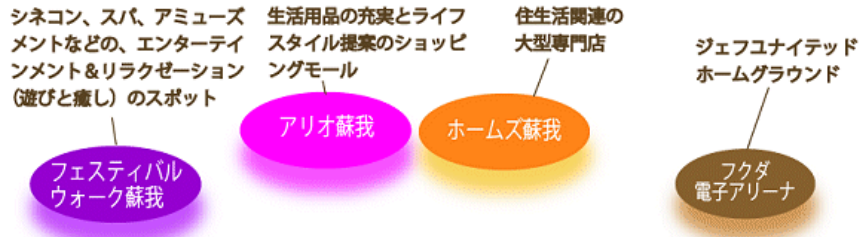


- ◆アリオ蘇我 (GMS:イトーヨーカドー+Ario モール)
- ◆ホームズ蘇我店 (HC+住の大型専門店)
- ◆フェスティバルウォーク蘇我 (シネコン・スパ・アミューズメント型 SC)
- ◆花の駅そが (花畑の公園+フードバンク)
- ◆ティップネス蘇我 (フィットネス)
- ◆GLOBO (フットサル+スポーツテーマの SC)
- ◆ゴルフリゾート SOGA
- ◆ファッションスクエア蘇我
- ◆ベイフロント蘇我

ハーバシティ蘇我の段階的、発展的まちづくり

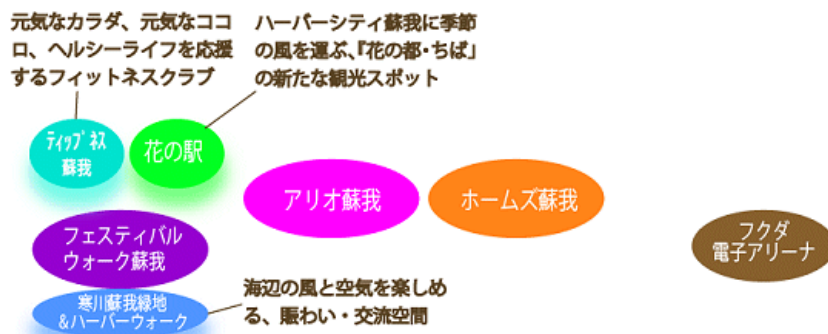
第1期まちづくり

ハーバシティ蘇我、誕生



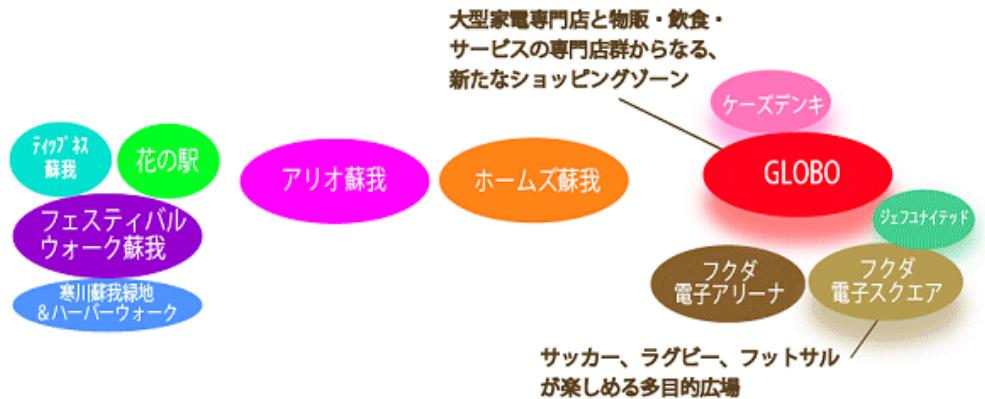
第2期まちづくり

海辺整備、癒し・健康のゾーンづくり



第3期まちづくり

スポーツ施設の拡充、スポーツテーマ SC 開発



第4期まちづくり

総合スポーツ公園整備



～“生活の拠点”と“スポーツの拠点” これまでの歩み

●ショッピング&エンターテインメント

…ハーバーシティ蘇我のまちびらきは、2005年4月。まちびらき当初は「アリオ蘇我」「ホームズ蘇我」「フェスティバルウォーク蘇我」の3つの街区でスタートした、楽しくパワフルなショッピングセンターです。

…「アリオ蘇我」は、イトーヨーカ堂が直営売場に大きなモールを備えた本格的なショッピングセンターづくりに取り組み始めた第1号店です。島忠が展開する「ホームズ」業態はホームセンターと家具・インテリアを合わせた総合的な住関連の大型専門店、「フェスティバルウォーク蘇我」は、エンターテインメントとリラクゼーションがテーマの施設を集めた時間消費型SCです。

●ジェフユナイテッド市原・千葉のホームグラウンド

…2005年秋、総合スポーツ公園内の「フクダ電子アリーナ」(ジェフユナイテッド市原・千葉のホームグラウンド)が先行開業。天然芝のグラウンドと約18,500席の座席を有する、全国でも数少ない全周屋根付サッカー専用スタジアムです。

●ウォーターフロントの賑わい

…フェスティバルウォーク蘇我に隣接する海側に、千葉県により「寒川蘇我緑地」の一部(護岸:267m)と、JFEスチール株式会社が設営する海上展望デッキ「ハーバーウォーク」の整備が完成し、親水型の賑わい・交流空間が形成されました。海を渡ってくる風とともに、楽しげに行き交う人々、くつろぐ人々のざわめきを感じられます。

●リラクゼーション&ウェルネス

…「フェスティバルウォーク蘇我」の向かいに花畑の公園「花の駅そが」が2007年5月にオープン、同7月には店舗棟が開業しました。この店舗棟では、『キャンドル工房蘇我』『カジュアル・レストラン』を当社が直営で展開しております。さらにその隣にはフィットネスクラブ「ティップネスハーバーシティ蘇我」が2008年1月に開業しました。既存の「スパ・ビューナ」やウォーターフロント整備とあわせて、ハーバーシティ蘇我のくつろぎと癒しのゾーンが大きく拡大しました。

●スポーツ施設の拡充

…2008年4月、「蘇我スポーツ公園」内にもうひとつの施設が誕生。サッカー、ラグビー、フットサルが楽しめる多目的広場「フクダ電子スクエア」がオープンしました。

●ショッピング・タウンとしての充実

…大型専門店と新たなショッピングセンターからなるショッピングゾーン「GLOBO」西側敷地の「スポーツ&バリューモール」が、フクダ電子アリーナ(総合スポーツ公園内)の向かい側に、2008年7月に開業しました。これまで不足していた業種を大きく導入し、ショッピング・タウンとしての蘇我の魅力が大きくパワーアップしました。東側敷地には大型家電専門店(ケーズデンキ)が2009年3月に開業しました。

●スポーツ&レクリエーション

…千葉市のスポーツ振興の拠点となり、市民のレクリエーション需要に対応し、防災拠点機能も併せ持つ大規模な「総合スポーツ公園」の整備が千葉市により進められ、テニスコート「フクダ電子ヒルスコート」が、2011年4月に開業しました。また、ゴルフ練習場「ゴルフリゾート SOGA」も2011年2月に開業しました。

…2015年4月には「ファッションスクエア蘇我」が、2017年10月には「ベイフロント蘇我」が、それぞれGLOBO隣接地に開業しました。

ハーバーシティ蘇我を構成する商業施設

●アリオ蘇我



ディベロッパー:(株)イトーヨーカ堂
業態:1)GMS(衣食住全般)
2)専門店街 アリオモール
店舗面積:34,096 m²

●ホームズ蘇我店



ディベロッパー:(株)島忠
業態:1)家具 2)ホームセンター
店舗面積:24,549 m²

●フェスティバルウォーク蘇我



ディベロッパー:(株)ネクサス
業態:1)専門店街 2)アミューズメント施設
3)シネコン 4)スーパー銭湯
店舗面積:3,731 m²

●ティップネス ハーバーシティ蘇我



ディベロッパー:(株)ネクサス/運営管理:(株)ティップネス
業態:フィットネスクラブ

●花の駅そが <フードバンクちば>



事業主体:蘇我臨海部まちづくり推進協議会
運営管理受託:(株)ネクサス
業態:花畑の公園、店舗棟



店舗棟業態:フードバンクちば(2021年5月~)
事務所兼倉庫:約80坪

●GLOBO



ディベロッパー: JFE 都市開発(株)
 業態: 1) 専門店街(物販・飲食)
 2) フットサルコート 2 面
 店舗面積: 14,190 ㎡

●GLOBO 東側敷地



ディベロッパー: (株) ケーズホールディングス
 業態: 1) 大型家電専門店
 店舗面積: 7,885 ㎡

●ファッションスクエア蘇我



ディベロッパー: (株) 新昭和
 業態: 大型専門店(飲食・物販)の集積
 店舗面積: 約 1,121 坪

●ペイフロント蘇我



ディベロッパー: (株) 新昭和
 業態: 大型専門店(飲食・物販)の集積
 店舗面積: 約 2,159 坪

●ゴルフリゾート SOGA



ディベロッパー: 東武緑地(株)
 業態: 1) ゴルフ練習場

一体的な販促・イベント・まちづくり活動を実施

- ハーバーシティ蘇我のディベロッパーおよび商業者の集まりである 6 社協議会〔JFE スチール・GLOBO、イトーヨーカ堂、島忠、ネクサス、ゴルフリゾート SOGA、新昭和〕にて、商業ゾーンの運営について協力体制をとっています。
- 無料シャトルバスや共用駐車場の運営や一体的な共同販促などについて、6 社協議会で話し合い、全体として取り組んでいます。
- 蘇我臨海部における企業が結成し、千葉市もオブザーバーとして参加する蘇我臨海部まちづくり推進協議会では、協力して蘇我のまちづくりに尽力しています。（ハーバーシティ蘇我および JR 蘇我駅周辺の一斉清掃活動、蘇我駅ロータリーの美化活動、花の駅そが運営、ミニ SL 運転会開催協力など）

オリジナル販促紙を季節毎に発行

- 2008 年より、ゴールデンウィーク、夏休み、秋、クリスマスに発行。商圏内約 23 万世帯にポスティング。



オリジナル・キャラクター 「ハバ吉」くんによる賑わい演出

- 2011 年 11 月デビュー、以降各種イベント等に登場、子どもたちに大人気。



蘇我ミニトレインクラブによる ミニ SL 運転会

- 毎月 1 回。千葉市、蘇我臨海部まちづくり推進協議会と NPO 法人蘇我ミニトレインクラブが企画・運営。



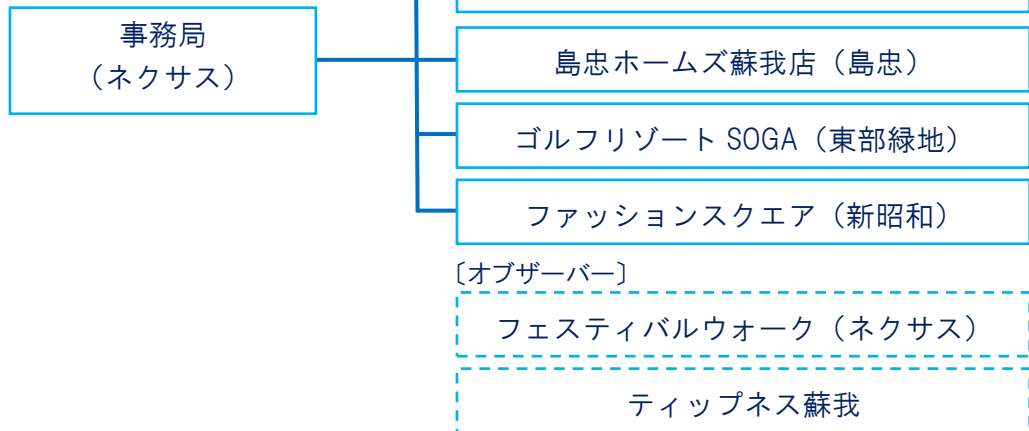
蘇我地区一斉清掃活動、 蘇我駅ロータリーの美化など

- 隔月の一斉清掃活動、蘇我駅バス停植栽などのまちの美化活動を実施。



ディベロッパー、商業者、行政が協力して取り組む組織体制

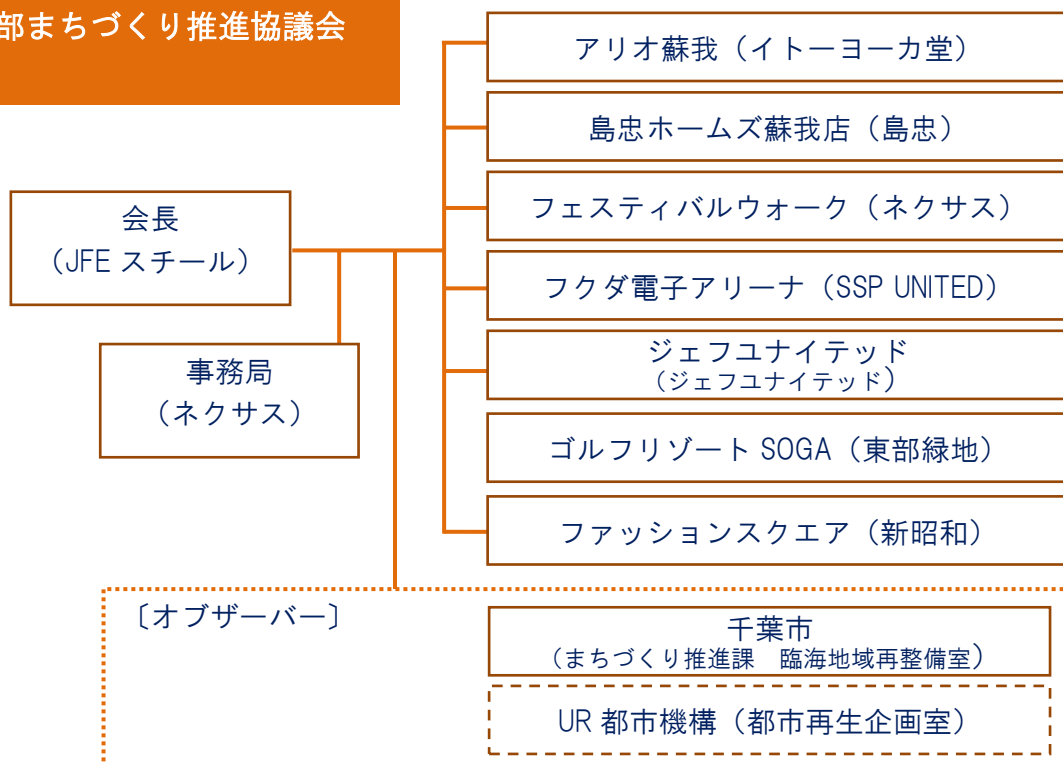
6社協議会 空間づくり～官民協同による



ハーバーシティ蘇我のディベロッパーおよび商業社の集まり。商業ゾーンの運営について協力。

- 毎月 1 回会合を開催
- 情報共有・意見交換の場
 - ・施設間の情報交換 / ・シャトルバスおよび共用駐車場の運営に関すること / ・共同販促（ハーバースタイルなど）について など

蘇我臨海部まちづくり推進協議会



蘇我臨海部における企業により結成。行政もオブザーバーとして参加し、協力して蘇我のまちづくりに尽力。

- ハーバーシティ蘇我及び蘇我駅周辺の一斉清掃活動を中心となって開催（隔月、参加企業・団体は地元町内会なども含め 17 以上）
- 「花の駅そが」運営、ミニ SL 運転会開催協力

蘇我スポーツ公園、2022年3月全面開園

千葉市におけるスポーツ振興の拠点 & 防災拠点

[施設概要]

(UR都市機構 2022年3月3日ニュースリリースより)

施設名	概要	供用開始時期
球技場 (フクダ電子アリーナ)	ジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアム、座席数：約 18,500 席	平成 17(2005)年 10 月
多目的広場 (フクダ電子スクエア)	サッカー、フットサル、ラグビー等に対応 (人工芝・サッカーコート 2 面)	平成 20(2008)年 4 月
庭球場 (フクダ電子ヒルスコート)	テニスコート (砂入り人工芝コート 20 面)、夜間照明設備 12 面分	平成 23(2011)年 4 月
第 1 多目的グラウンド (フクダ電子フィールド)	サッカー、ラグビー等に対応	平成 26(2014)4 月
第 2 多目的グラウンド (フクダ電子グラウンド)	少年軟式野球、ソフトボール等に対応	平成 27(2015)年 4 月 平成 29(2017)年 4 月
円形野球場 (フクダ電子スタジアム)	一般軟式野球、少年野球 (高学年)、リトルリーグ等に対応	令和元(2019)年 8 月
レクリエーション広場 (みどりの丘)	芝生広場	令和 4(2022)年 4 月 (使用開始は夏頃予定)
第 3 多目的グラウンド (フクダ電子ゴルフパーク)	パークゴルフ、ターゲット・バードゴルフ、グラウンドゴルフに対応	令和 3(2021)年 9 月
スケートパーク (フクダ電子ボードエリア)	スケーボード、インラインスケート、BMX に対応	令和 4(2022)年 4 月
バックヤード、遊具広場、第 1～第 4 駐車場		

フクダ電子アリーナ



フクダ電子ヒルスコート



フクダ電子スクエア



フクダ電子フィールド



スポーツ・音楽・その他の様々なイベントの実施を通じて、

人々の集いの場、交流拠点としてこれからも成長

[これまでに開催された主なイベント]

スポーツ

イベント名 <会場名>	内容【来場者・入場者数】
J.LEAGUE 開催試合 <フクダ電子アリーナ>	ジェフユナイテッド千葉のホーム試合。1シーズンで22回開催される。 【1試合平均 約 5,800 人(2019 年約 9,700 人)】
WE.LEAGUE 開催試合 <フクダ電子アリーナ>	2021年に始動した女子サッカープロリーグのジェフユナイテッド千葉レディースのホーム試合。1シーズンで8回開催される。 【1試合平均 約 1,600 人】
試合・大会 等 <フクダ電子アリーナ>	全国高校サッカー選手権大会、関東大学サッカーリーグ戦、なでしこリーグ 他
試合・大会 等 <フクダ電子スクエア>	全日本 U-12 サッカー選手権大会、千葉県サッカー選手権大会、千葉県・千葉市 中学校体育大会、U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ 他
試合・大会 等 <ヒルスコート>	千葉県テニストーナメント、ダンロップカップ、コスモス杯、クローバー杯、全国レディーステニス大会 他
ジェフ RunRun フェスティバル in 蘇我 <蘇我スポーツ公園内>	【2020年以降中止】2014年から開催されるマラソン大会(12月)。3km 周回コースで種目はハーフ・親子・リレーなど。 主催:JEF ユナイテッド 他
千葉マラソンフェスタ <蘇我スポーツ公園内>	【2020年以降中止】2016年から開催されるマラソン大会(9~10月)。3km 周回コースで種目は親子・30km・ハーフ・リレーなど。 主催:グッドスポーツ、2021年はエントリー開始後に中止

音楽フェス

イベント名 <会場名>	内容【来場者・入場者数】
JAPAN JAM <蘇我スポーツ公園>	富士スピードウェイで2010年から始まった音楽フェス。蘇我スポーツ公園では2017年から開催されている(2020年は中止)。2022年5月の開催では5日間で約60組アーティストが出演。 【推定約 10 万人(2019 年 111,182 名)】
ROCK IN JAPAN FESTIVAL <蘇我スポーツ公園>	2000年国営ひたち海浜公園での開催から始まった音楽フェス(2020年と2021年は中止)。2022年8月に初めて蘇我スポーツ公園で開催され、4日間で約112組のアーティストが出演。 【約 22.5 万人(2019 年 337,421 名)】

その他

イベント名 <会場名>	内容【来場者・入場者数】
JFE ちばまつり <フクダ電子アリーナ周辺>	JFE スチール主催で多くの来場者で賑わう大規模イベント。"地域との共生"を目的として昭和52年にスタートし2022年で42回目となる。70を超える出店や子供広場、コンサートなど様々な催しが行われる。春にはJFE さくらまつりが開催されている。

“生活の拠点”と“スポーツの拠点” 未来へ向けてのポテンシャル

～まち空間と商空間・スポーツ空間を融合させるまちづくりを目指して

未来

- 隣接し合う巨大な暮らしの拠点(=ハーバーシティ蘇我)とスポーツの拠点(=蘇我スポーツ公園)は一体的に蘇我のまちの核を構成する基地であり、相互に連携しながら蘇我のまちをさらに成熟させていくという大きな役割を担っています。
- 広大な敷地に点在する各施設の個性を活かしながら、ストリートを演出する・まちとしての面を活性化する・イベントを展開する、など様々な可能性を秘めた蘇我エリアのまちづくりにおいて、賑わい演出に向けてのソフトの仕掛けがこれからますます重要になってきます。
- 次世代に向けて、蘇我のまちにおけるSDGsを共に考え、協働していくことが大切です。そしてまた、蘇我のまちはここに集う人々の活動により、自律的な成長・発展を続けていくでしょう。



〔ウォーターフロント〕

〔中央部分〕

〔蘇我駅側〕

癒し&
アミューズメント
の基地

生活の基地

スポーツ&健康の基地
エコの基地

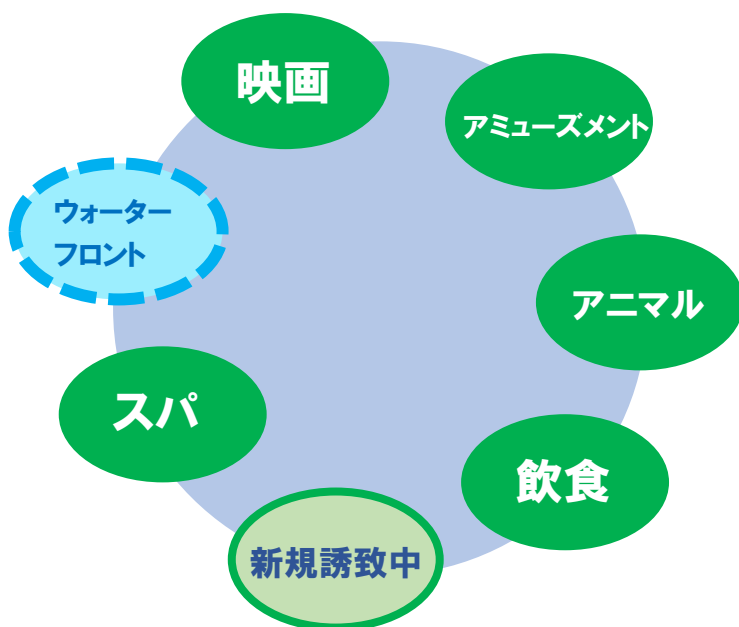
- 横長の2,000mをどう時代的なものでつなぐか
⇒歩いて楽しい仕掛けづくり
・・・歩道の緑道化、ピオトープ・ネットワーク、ジョギング・ロード など
- 点在するハコ型施設の集まりを「まち」として魅力あるエリアへ
⇒まち空間と商空間を融合させる仕掛けづくり
・・・イベント・賑わいの演出、市や屋台村の開催、REマーケット など

ハーバーシティ蘇我のウォーターフロントエリア

=癒し&アミューズメントの基地

- ハーバーシティ蘇我のウォーターフロントエリアはフェスティバルウォーク蘇我、ティップネス、花の駅そがが集積する、癒しとアミューズメントの基地。
- シネコン、フィットネス、スパの施設は現代の広域集客型 SC には欠かせない要素です。これらを全て併せ持つこのエリアはハーバーシティ蘇我の中でも SC としての重要な役割を担っています。
- 映画、ゲーム、キッズパーク、ふれあい動物園といった遊び・アミューズメントの施設や、スパ、フィットネスの癒し・健康の施設は、ファミリー層やシルバー層を含む幅広い世代への訴求力を持ち、これらの機能を有することにより、ますます進展する超高齢化社会における生活者ニーズに応えていくことが可能です。

フェスティバルウォーク蘇我



ティップネス蘇我

フィットネス

花の駅そが

フードバンク

公園

海と公園の貴重な自然資源

●海辺で海をわたる風を感じながらくつろげる、遊べる場所。花の駅そがは公園であり四季を感じることもできる場所。ハーバーシティ蘇我の中でもウォーターフロントエリアは特に、副都心でありながら自然を体感しながら過ごすことのできる場として、貴重な資源を有しています。



- 左:「フェスティバルウォーク蘇我」海側の「蘇我寒川緑地」
- 右:海上展望デッキ「ハーバーウォーク」

フェスティバルウォーク蘇我(=時間消費型 SC)、フィットネス、公園



遊びのメッカとして様々なイベントが開催されているウォーターフロントエリア



花火大会<Festival Walk Dreams>



カヌー・カヤック体験会



カーイベント<アメ車・GAZOO 愛車広場等>



ステージショー<ローカルヒーロー祭り等>



コスプレ解放 (毎月開催)



ミニSL運転会



わくわく体験まちづくり in ちば

フェスティバルウォーク蘇我 配置図

(フェスティバルウォーク蘇我 Web サイトより)

1F



①	湯の郷 ほのか	フード スパ	お食事や岩盤浴・露天風呂が楽しめます。
④	GIGO フェスティバルウォーク蘇我	ゲーム	地域最大級！人気ゲームがたくさん！
⑤	T・ジョイ蘇我	シネマ	千葉県内最大級のシネマコンプレックス。

2F



⑥	Cuddly	アニマル	愛犬のトリミング・ペット医療相談。
⑦	モリタキックボクシングジム	スポーツ	初心者・女性・プロ志望の方も大歓迎！

蘇我駅から無料バスで 15 分、敷地内駐車場約 850 台(平面+立駐)

電車・シャトルバスでのアクセス

JR 海浜幕張駅	JR 京葉線 約 12 分	JR 蘇我駅 西口	無料シャトルバス 約 15 分	フェスティバル ウォーク 蘇我
JR 千葉駅	JR 外房線 約 5 分		徒歩 約 2.0km (約 25 分)	
JR 五井駅	JR 内房線 約 10 分		徒歩 約 1.4km (約 18 分)	
		JR 本千葉駅		

無料シャトルバスルート

- 蘇我駅西口→フェスティバルウォーク前下車 (乗車時間 約 15 分)
- 約 15 分～30 分間隔にて運行



車でのアクセス

▷東京方面から

京葉道路・松ヶ丘 IC	県道 20 号線経由	約 4km (約 12 分)	フェスティバル ウォーク 蘇我
-------------	------------	----------------	-----------------------

▷木更津方面から

京葉道路(館山道)・蘇我 IC	国道 357 号線経由	約 3.7km (約 9 分)	フェスティバル ウォーク 蘇我
-----------------	-------------	-----------------	-----------------------

施設配置図

